

《量子技術・音楽・創造的表現に関する国際インタラクティブワークショップ》

量子×音楽

～量子コンピュータが拓く新しい音楽表現～

登壇・パフォーマンス：E. R. ミランダ(英国プリマス大学) / 相馬 聡文(神戸大学)



Prof. Eduardo Reck Miranda (University of Plymouth)



Conceptual image of a quantum computer
Image: OJB Quantum / Wikimedia Commons / CC BY 4.0 (Cropped)

2026.10.10 (土)

14:00~18:00

(開場13:30)

神戸大学

情報価値創造教育棟

1階V105セミナー室(Vルーム)

神戸市灘区六甲台町1-1

【当日の内容】

- 量子コンピュータと音楽をめぐるトーク
- 量子音楽システムのライブデモ
- 研究・作品の展示と交流（発表募集中・詳細裏面）
- 量子コンピュータ音楽のライブパフォーマンス



神戸大学情報価値創造棟

【主催・お問い合わせ】

- ・主催：神戸大学大学院 工学研究科 電気電子工学専攻 EP4A(相馬聡文)研究室
- ・協力：一般社団法人EntangleTune
- ・開催支援：神戸大学国際共同研究強化事業、プリマス大学
- ・お問い合わせ：ssouma@harbor.kobe-u.ac.jp
- ・お申し込み方法：下記のリンクまたは右のQRコードよりフォームにご登録ください。
- ・登録フォームURL：<https://forms.gle/pC5tPcmKK2HWNj3DA>



参加登録はこちら

International Interactive Workshop on Quantum Technology, Music, and Creative Expression

《量子技術・音楽・創造的表現に関する国際インタラクティブワークショップ》 【2026年10月10日（土）】開催のご案内

2026年10月10日（土）、神戸大学にて「量子×音楽」をテーマにした特別イベントを開催します。今回は、量子コンピューティングやAIを用いた音楽表現の世界的なパイオニアである、英国プリマス大学のエドゥアルド・レック・ミランダ教授をお迎えします。

前半は、ミランダ教授によるお話と、量子コンピュータを使った音楽生成のライブデモンストレーション。「最先端の技術がどのように音楽を作るのか」を分かりやすく紐解きます。中盤のポスター・展示セッションでは、最新の研究やアート作品に直接触れながら、参加者同士でざっくばらんに交流できる時間を設けています。そして後半のハイライトは、ミランダ教授ご本人によるコンサート形式のライブパフォーマンスです。

量子コンピュータに関する専門知識は必要ありません。最先端のテクノロジーと芸術が交差する未知の音楽体験を、ぜひ会場で一緒に楽しみましょう！

【イベント概要】

日時：2026年10月10日（土）14:00～18:00（開場 13:30）

会場：神戸大学情報価値創造教育棟1階 V105セミナー室（Vルーム） ※対面開催のみ
（[神戸大学システム情報学研究科本館](#)隣接）〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

参加費：無料（[参加登録のページ](#)より要事前登録・先着順）

対象：量子コンピューティング、AI、情報科学、音楽テクノロジー、メディアアート等に関心をお持ちの研究者・教員・学生、および一般の方

ポスター発表：音楽情報科学や量子情報の創造的応用全般についてのポスター・デモ発表を広く募集します。進行中の研究やプロジェクトも歓迎します。詳しくは[参加登録のページ](#)をご覧ください（ポスター発表希望の方は2026年9月4日（金）までにお申し込みください）。

※講演は英語で行われますが、当日はAIによる日本語字幕自動生成を試験的に活用予定です。

【ゲストプロフィール】

Eduardo Reck Miranda（エドゥアルド・レック・ミランダ）英国プリマス大学教授（コンピュータ音楽）、および同大学インターディシプリナリー・センター・フォー・コンピュータ・ミュージック・リサーチ（ICCMR）ディレクター。1980年代よりAIを用いた作曲・音楽システム開発を進め、1995年にエディンバラ大学にて、音楽におけるAI活用をテーマにした英国初とされる博士論文を執筆。進化計算やバイオインスパイアド計算による音楽的創造性のモデル化を牽引してきた。近年は、量子コンピューティングとAIを融合させた音楽表現の第一人者として米・経済誌『Forbes』等で大きく取り上げられる。また、脳・コンピュータ・ミュージック・インターフェース（BCMI）の医療・福祉応用（認知症サポート等）でも国際的に高く評価されている。数々の交響曲やオペラを手掛け、BBCコンサートオーケストラ等と共演するほか、NFTアーティストやメタバースでのコンサート、単細胞生物との音楽即興演奏など、常にテクノロジーと芸術の境界を拡張し続けている。

【主催者】

相馬 聡文 神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻准教授、一般社団法人EntangleTune代表理事。量子輸送理論、半導体デバイスシミュレーション、ならびに量子コンピューティングの学際的応用を研究しており、特に音楽や創造的表現への応用にも取り組んでいる。